

令和4年度鹿児島県がん診療連携協議会議事要旨

1. 日 時：令和4年11月10日（木）15：00～16：20

2. 会議形式 オンライン（Zoom）会議

3. 開会挨拶

上野センター長より、開会に先立ち挨拶があり、続いて、鹿児島県くらし保健福祉部健康増進課の黒崎課長より挨拶があった。

4. 議題等

（1）令和4年度都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会の報告

① がん診療連携拠点病院等の指定要件の見直しについて

上野センター長より【資料1-1】により報告があり、指定要件の見直しや、都道府県がん診療連携協議会のあり方等について詳細な説明があった。

② がん登録部会からの報告

中筋診療情報管理士より【資料1-2】により報告があり、院内がん登録全国収集データの活用体制や中級認定更新におけるポイント制検討等について説明があった。

③ 情報提供・相談支援部会からの報告

野島看護師より【資料1-3】により報告があり、整備指針／次期基本計画に向けた提案書のポイントやがんと診断されて間もない人への情報提供資材について説明があった。

④ 緩和ケア部会からの報告

永田看護師長より【資料1-4】により報告があり、厚労省から情報提供等について説明があった。

（2）各部門からの報告

① がん相談・連携部門

野島看護師より【資料2-1】により鹿児島県がん相談支援部門会からの報告があり、2022年度の鹿児島県がん相談支援部門会のグループ編成及び各グループの活動報告があった。

② がん緩和医療部門

永田看護師長より【資料2-2】により鹿児島県緩和ケア部門の報告があり、地域包括緩和ケアシステムの構築に向けての活動報告及びアドバンス・ケア・プランニング（ACP）推進についての活動報告があった。

③ がん登録部門

中筋診療情報管理士より【資料2-3】により鹿児島県がん登録部門の報告があり、医療機関選択のためのデータ提供と課題について及びがん登録部会の現状と課題等について説明があった。

④ 化学療法部門

鈴木副センター長より、【資料2-4】により説明があった。化学療法室の運営状況について説明があり、年々増加傾向であるとの発言があった。また、2021/8からFoundationOne Liquid CDxの保険適用が開始されたことや、がん遺伝子パネル検査は2018/6から2022/7までに378症例となっているとの報告があった。